

■ 北の文化の魅力発信

知事公館エリアの一体的な活用を検討するとともに、本道の文化・芸術・歴史の魅力の発信や振興に取り組みます。

(政策展開の方向性)
道立近代美術館をはじめとする知事公館エリアの活用構想を策定するなど文化・芸術・歴史の発信拠点としての活用を検討します。また、北海道博物館の更なる活用を図るとともに、縄文文化の保全や研究、誘客、交流などを担う拠点機能の実現に向けて取り組みます。北海道遺産や日本遺産などの本道の歴史や文化の活用、さらには、まんがやアニメなどメディア芸術などの振興に取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
赤れんが庁舎の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度より指定管理者の運営を開始し、令和7年7月25日にリニューアルオープン ○令和6年度の赤れんが庁舎改修事業終了に伴い寄附の募集を終了し、建物の保全・展示の充実に使途を変更し、新たに寄附の募集を開始 	0105
地域政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○道内の日本遺産エリアにて、関係市町や振興局、民間団体と協力して、北海道遺産や日本遺産など地域の歴史や文化に触れる体験型イベントを開催し、来場者の約8割に関心を喚起するなど、地域への誘客を実施【R5.9小樽市：約1,300名、R6.5江差町：延べ258名来場】 ○地域遺産有効活用・人材育成研修会を開催し、他都府県の先進事例や地域活性化に繋げるノウハウについて学ぶ機会を設けることで、地域活動を担う「人づくり」に資する取組を実施【R6.5江差町で開催】 ○ジオパークや恐竜・化石など本道各地域の特性に応じ、民間企業の協力のもと関係市町や博物館などの施設が一体となり、その魅力を道内外へ発信し、各地域・施設へ人を呼び込むイベントを企画立案・実施するとともに、相互の取組の質の向上を促進【R7.2(恐竜・化石)埼玉県越谷市：延べ4,209名、R7.7同越谷市：延べ1,270名、R6.7(ジオパーク)三笠市：135名来場、R7.3(ジオパーク)札幌市：延べ2,022名】 ○地域づくり総合交付金などにより、市町村等が行う地域課題の解決や地域活性化に向けた取組を支援【地域づくり総合交付金 R6決算額4,492百万円】 ○集落支援員制度の普及啓発により道内市町村における任用数の増加を図ったほか、各種情報共有により集落支援員の活動を支援【集落支援員任用数 R4：107人、R5：129人、R6：155人】 	0209

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

<p>独自の歴史・文化の発信・継承</p>	<p>○縄文世界遺産の保全と活用に向け、イベント、セミナー及びパネル展を開催し、価値や魅力を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文世界遺産 登録3周年記念フェスタin豊平館【R6.11】 ・北の縄文リレー展2024in幕別【R6.8～R7.1】 ・縄文セミナーin幕別【R7.1】 ・縄文セミナーキッズin幕別【R7.1】 ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録4周年イベント【R7.7】 ・縄文世界遺産の価値や魅力を発信するためのコンテンツの充実化 ・受入体制の充実化を図るためガイド向け研修会を開催【R6.12】 <p>○北海道博物館において、収集保存機能・展示機能・調査研究機能等を高め、北海道ならではの自然・歴史・文化に関わる遺産を最大限活かし、質の高い活動を展開する博物館づくりを実施</p> <p>○「道みんの日」記念事業として「北海道みんなの日 U-18メッセージコンクール」実施および、「道みんがっこう」の開催</p> <p>○「道みんの日」に係る市町村、民間団体・企業と連携した取組として、市町村立施設の無料開放・割引【R5：39施設 R6：49施設 R7：48施設】、ホテルレストランや北の愛食レストランと連携し、道産食材を使ったメニューを提供【R5：18店 R6：11店 R7：21店】、民間企業の協力による記念キャンペーンの実施【R5：6社 R6：6社 R7：7社】</p> <p>◇「北の縄文ポータルサイト」による統一的な情報発信</p>	<p>0310</p>
<p>文化芸術活動の振興</p>	<p>○文化活動の促進に向け、関係団体への支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道文化財団補助金【R6実績：地域文化創造事業41事業、文化情報発信事業3事業、芸術文化鑑賞事業36事業、芸術文化交流事業15事業】 ・文化団体活動費補助事業(文団協)【R6実績：道民芸術祭14管内47会場16,399人参加】 <p>○人材育成のため、関係団体への支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道文化財団補助金【R6実績：文化活動人材育成事業9事業】 ・芸術文化活動費補助事業(札幌)【R6実績：音楽教室及び演奏会118公演】 ・PMF開催事業【R6実績：演奏会5市町1,701人参加】 <p>○北海道を題材にしたコンテストの実施により、メディア芸術の振興が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第10回北のまんが大賞」募集【第9回(R6)応募件数：まんが26件、イラスト148件】 ・「第3回北のアニメ大賞」募集【第2回(R6)応募件数：6件】 	<p>0311</p>
<p>ふるさと教育の推進</p>	<p>○アイヌ教育相談員等の活用や「北方領土の語り部」の派遣等について、ふるさと教育・観光教育等推進事業で扱っている各テーマに関する教員の理解を深める学習会【R7.7】で周知するとともに、ウポポイ等の施設の活用促進に係る通知を環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課と連携して発出するなど、教育活動の充実に向けた情報提供により、ふるさと教育・観光教育等を促進</p>	<p>1105</p>

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

文化芸術活動の推進	<p>○各美術館等において、展覧会開催【R6利用者：569,778人】や学校教育活動での活用を支援【R6：230校】するとともに、「北海道リモート・ミュージアム」による配信【R6：動画13本】を行い、「道立美術館等オンラインアート教室」【R6：22校】を実施し、芸術文化に触れる機会を提供</p> <p>○令和7年7月1日から8月31日までを「高校生等の美術館等利用促進重点期間」として設定し、道立美術館等の常設展示の観覧料無料とするほか、各種教育普及事業（イベント）を実施</p> <p>○文化財ニュースレターを発行して文化財に関する情報発信や、北海道文化財保護強調月間（10月8日～11月7日）に関するポスターを作成し、市町村の取組を支援【R6：文化財ニュースレター2回発行、144市町村で事業実施】</p> <p>○文化財パトロールを実施し、指定文化財の現状把握や必要な助言を行ったほか、未指定文化財の調査を行い、指定の推進を図ったことにより、文化財保護を促進【国・道の指定数 R5：347件、R6：348件】【文化財パトロール R6：14管内501件】</p> <p>○アイヌ民俗文化財の保存・伝承活動を推進するため、アイヌ民俗技術に関する調査及び民俗芸能等に関する講座を実施【R6：6市町・計104回】</p> <p>○文化活動を支える人材確保に向け、芸術文化に触れる機会の充実、文化財の保護や活用を推進</p>	1114
その他	<p>◇知事公館・近代美術館エリアの魅力向上に向け、現在、低利用となっている居住区域の活用や老朽化が進む近代美術館の整備方法などを検討</p> <p>◇知事公館・近代美術館エリアを一体的に活用し、魅力溢れる場所とするため、「知事公館・近代美術館エリア活用構想」を策定【R7.3】</p>	—

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成